

デジタルスペースの整備



長崎県立長崎東高等学校



デジタルスペースは、対話的・協働的な学びを促進する多目的学習空間として整備し、高性能なICT機器を活用することで、講義に加え、グループワークやオンライン交流など、柔軟な学びが可能となった。今後は、探究活動や部活動、国際交流などにも幅広く活用し、生徒が主体的に学びをデザインし、学校全体で「共に学ぶ文化」を育む拠点として期待している。



活用事例

情報Ⅰの授業

高校1年生全クラス講義形式だけでなく、インタラクティブな授業

授業

科目「統計とデータサイエンス」を新設し、データリテラシーについて学ぶ

外部講師の講演・講義

生成AIについて職員向け研修、アンケート分析など統計の生徒向けの外部講師の研修

国際会議の実施

参加高校生50名程度。海外の高校生とオンラインで繋いで実施

部活動での使用

視聴覚機器を用いてミーティング

他団体とのオンラインミーティング

AIやARをつかった探究学習について外部団体とミーティング



※実際の提示の様子





整備している機器について



高機能PC

メモリ16GB
主記憶装置512GB

配信・動画編集



電子黒板

65インチ(Windows)
70インチ

資料提示(ペン書込)



自動追尾カメラ

自動追尾

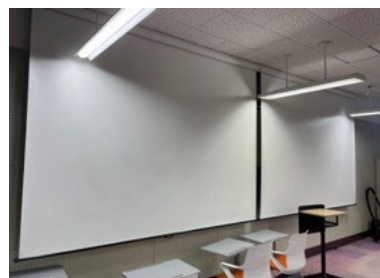
授業撮影



入力スイッチャー

4台スイッチ

動画編集・授業配信



スクリーン

120インチ

資料投影



プロジェクター

8500ルーメン
LEDレーザー

資料提示



机付きチェア・演台

探究学習



HDMI HUB

5ポート
8ポート

HDMI分配